

東原中学校同窓会会報 No.16

題字 駒井妍和(聰) (25期生)
発行責任者 大倉光男 (18期生)

●インタビュー

頑張る同窓生 蜂須賀裕子さん



(18期 昭和44年卒業)

今回の「頑張る同窓生」は、18期生のフリーランスライターの蜂須賀裕子さん。2月中旬、春めいた西武線田無駅近くのお仕事場をお訪ねした。

中学時代の思い出

昭和28年12月生まれ、池袋生まれ、お父上の転勤で2年間の大坂暮し、豚マンを肉マンと言っていじめられた。そのことが後に「ことば」に興味を持つ動機の一つになった。大阪から杉九小学校に5年生で転校、池袋っ子なのに大阪からの転校生とクラスに紹介され、生まれも育ちも大阪なのだと誤解を受けてしまった。当時大阪と東京の授業の進み方が違い、辛い思い出も多かった。引っ越し思案の小学校に比べ、中学からは自分から学校生活に積極的に関わるように意識した。1年の担任の貝瀬弘子先生に国語に秀でた（国語は通信簿5）生徒と褒められたことが原点になって、今の自分があると強く語った。ある時は通信簿で人数の枠があつて「あなたの4は本当は5なのよ」と丁寧に説明を受けて一層先生が好きになった。得意だった理科の石川博先生も忘れられない恩師の1人。思い出の多い素敵な友達に恵まれた3年間を過ごした。気さくで明るい性格は、浅草生まれの米屋の娘の母親の血がそうさせるのかもしれない。

記憶力抜群

中学時代の出来事をまるで昨日のように語る記憶力抜群の一面も。「人間

の頭は7つまでは覚えられるよ。電話番号が7つ。ラッキー7もそれが由来なのよ」と裕子さんは語る。

進路

中学卒業後は都立武蔵丘高校に進学、帰宅部！修学旅行は中学と被ってまた奈良・京都。武蔵大学人文学部欧米文化学科に進学。大学では文芸部に所属、卒業後、旅行会社の子会社に就職して観光ガイドブックの編集の仕事に精出したが、当時、お茶くみやらなんやらと男女差別が酷く一念発起し「寿退社ですか」との質問に、「進学します」と言って退職。生活の為もあり、親会社から頂いた編集の仕事をしながら、和光大学人文学科芸術学科（現表現学部）に3年生から編入。学生と社会人の同時進行が続く中、ゼミの先生のご自宅が鷺宮で一緒に帰ったり、大好きなトンカツをご馳走して頂いたり、ここでも素敵なご縁に恵まれた。編集者を経てフリーランスライターに。現在は女性、子供、農業、食、体をテーマにインタビューを基軸としたルポルタージュを執筆している。

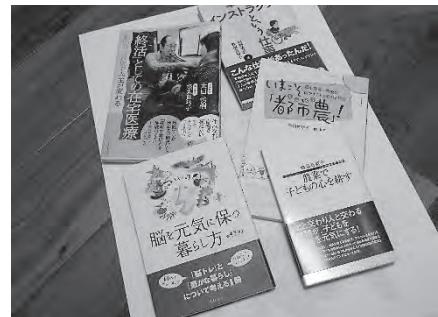


執筆活動

著書には『脳を元気に保つ暮らし方』（大月書店）、『農業で子どもの心を耕す』（子どもの未来社）、『車椅子インストラクターという仕事』（共著、はる書房）、在宅医・太田秀樹氏に聞き書きした『「終活」としての在宅医療—かかりつけ医で人生が変わる』（かもがわ出版）などがある。野球解説者佐々木信也氏に始まり、訪米前の阿川佐和子、山本富士子、川田龍平、日野原重明、赤塚富士夫、弘兼憲史、早稲田大学吉村作治、冒險家CWニコルなど多彩な方面の方々を取材。

地域活動

立川市男女平等参画課主催の市民企画活動の一環として「もっと書きたいあなたのための文章講座」の講師として参画。参加者に「あなただけの体験だから記憶しましょう。記憶だけだとだめだから、記録しましょう」とアドバイスすることも。何をやったら皆さんのがことばに興味を持てるかを考えるのも楽しみの一つ。雪の降り方から英語の訳まで言葉の表現は人それぞれ。エッセイの素晴らしさを語り、書くのが苦手だけど書いてみたい、書くのが好きでもっと書いてみたいという受講生の声に応えて作品の指導をする。出来上がった作品は小冊子として毎年発行されている。



ライフワーク

戦争体験をはじめ大正・昭和の人々の暮らしなど風化しつつある事柄やお年寄りの生活の知恵などを取材し、記録として残したいと思っている。趣味は短歌。近所に暮らす96歳の母の介護もしている。

同業者のツレアイ（山村基毅）と年に数回、「くろにか舎」として出版物を刊行。「なにより、文章を書くことが一番落ち着く」と「書き残すことが大事な事」と熱く語られた蜂須賀裕子さんでした。彼女のあだ名 中学時代 イモコ 高校・大学 コロコ 社会人 はっちゃん……でした。

これからもライフワークを進め、個性を生かした執筆活動を続けて活躍することをお祈りし、インタビューを終えた。

インタビュー・まとめ・写真
大倉 光男 (18期 昭和44年卒)

① おくずみ肉店 三代目店主 奥住眞吾さん 37期

創業70年以上の老舗。おくずみ肉店は下井草商店街で唯一のお肉屋さん。精肉は産地にこだわらず、良いお肉を厳選。お惣菜のサラダ・餃子・焼売なども好評。特に店頭販売のとんかつ・コロッケ・メンチ・春巻きなどは、揚げたてでとてもおいしいと大評判です。

② 青柳菓子店 三代目店主 三井寛和さん 31期

昭和22年創業。厳選された豆から作る餡子・生地などは全て自家製。季節に合わせた和菓子は100種類以上。創業当初のサツマイモ畑風景をイメージしたさつまいも味の「井草こまち」は、「下井草を幸せな街に」と願いを込めてつくられた自慢の一品。毎年、東原中学のお祝いに届けられる「お赤飯」は大好評！老舗和菓子店として頑張っています。

③ クラウン洋菓子店

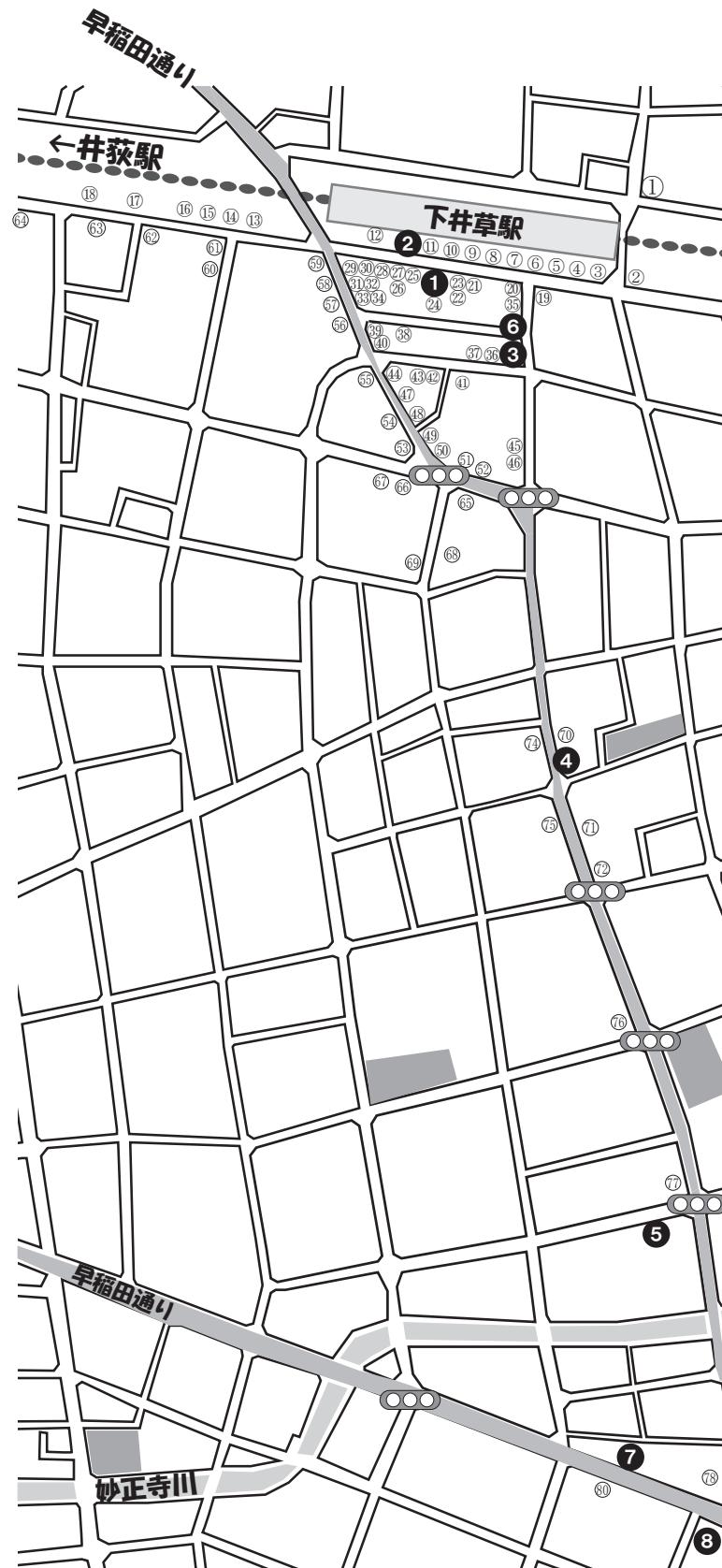
郡司やよいさんご実家（旧姓藤原）26期

昭和42年創業。添加物を極力使わず素材の品質を生かした優しい洋菓子。お客様の好みに合わせた洋菓子づくりで、愛される街の洋菓子屋さん。昔ながらの生クリームたっぷりのロールケーキなど人気商品が多く、焼き菓子は全国配送もしています。

④ ワンデーショップ村上本店

二代目店主 村上博さん 29期

昭和30年創業。クリーニング店として自社工場で手掛ける仕事は、仕上がりの良さはもちろん創業当初から1日で仕上げるスピード一なお店として、地元のお客様に喜ばれています。また、洋服のケアはしみ抜き・汗抜きからリフォームまで、プロの技で評判です。



① 西武信用金庫

② 日産レンタカー

③ 村さま

④ 焼肉サラン

⑤ マルゴ青果

⑥ 東京信用金庫

⑦ ファミリーマート

⑧ カラオケスナックJUN

⑨ ケア24

⑩ ナショナルラザーズ商会

⑪ ヒノマル

⑫ サンエトワール

⑬ 淡采房

⑭ カリプソプラス

⑮ 小虎

⑯ 来集軒

⑰ 司法書士いぶき合同事務所

⑱ 串カツ広島焼き たちまち

⑲ 西友

⑳ ディップネス下井草店

㉑ とんかつ おかめ

㉒ 森田ビル

㉓ ツルハドラッグ

㉔ 美容室BASSA下井草店

㉕ 京樽

㉖ さくら歯科

㉗ メガネスーパー下井草店

㉘ いづみや

㉙ 稲本ビル

㉚ (医) 愛翔会山口歯科

㉛ スマイル

㉜ 八方ビル

㉝ 庄屋

㉞ 井口道場

㉟ オーロール

㉟ 下井草珠算塾

㉞ 弘城屋

㉞ 美芳園生花店

㉞ 江森青果

㉞ 炭火焼肉昇龍

㉛ ひるた皮フ科

㉛ 橋本時計店

㉛ レディースファッション わかぐさ

㉛ クレープないいろ

㉛ ジェル ヤナギサワ

㉛ 喫茶ドール

㉛ ペットキャッスル

㉛ 伊藤カメラ

㉛ 中村薬局

㉛ 巴里院

下井草商店街マップ



- ⑤1 串揚げ 329
- ⑤2 やまむら歯科医院
- ⑤3 かねいち
- ⑤4 よこやま耳鼻咽喉科
- ⑤5 (有) 大野左官工業
- ⑤6 はぶ小兒科・内科
- ⑤7 三井住友銀行
- ⑤8 小松屋
- ⑤9 タバコ屋 ひまわり
- ⑤10 Go 喰
- ⑥1 トッティー
- ⑥2 リビング住販
- ⑥3 もつ焼き一利
- ⑥4 THC下井草接骨院
- ⑥5 (有) アールイームツミ
- ⑥6 うな与志
- ⑥7 中華蕎麦 はる
- ⑥8 ファッションクリーニング シャレキ
- ⑥9 仁神精米店
- ⑦0 理容室ヒロヒサ
- ⑦1 木村鉄工
- ⑦2 櫻庵
- ⑦3 四谷軒
- ⑦4 井口畠店
- ⑦5 ますしん
- ⑦6 読売センター
- ⑦7 趣味の染物 野崎屋
- ⑦8 鴨よし
- ⑦9 セブンイレブン杉並天沼店
- ⑧0 (有) 富士印刷社

⑤ 宝盛庵 二代目店主 佐々木豊和さん 32期
先代から受継いで30年。下井草の住宅街のお蕎麦屋さん。料理は素材を国内産に厳選し、麺は全て自家製。季節料理も好評。お子様にお蕎麦屋さんの魅力を感じて貰い、「大人になっても街のお蕎麦屋さんを愛してほしい。」との思いで、お子様セットも大人気。アットホームなお店です。

⑥ もいちや 二代目店主 堀口直樹さん 31期
創業50年。人形焼の卸し業として開業。直販のお店で毎日販売している出来たての人形焼は、独自の製法にこだわり、他店には無い、モチモチの食感で大人気。特売日もあり、地元以外のお客様も買いに来る人形焼は餡入り、無しの両方とも格別です。

⑦ 志野サイクル 二代目店主 篠孝一さん 30期
創業40年。当初自転車店として開業。現在は地元一大きなバイク専門店。「安売り番長」のキャッチフレーズを掲げ、地元以外に全国通信販売も手掛けています。また、アフターサービスも充実。姉の大塚由美子さん(27期)ご主人大塚均さん(27期)、三代目 拓也さん(58期)、大輔さん(60期)と共に頑張っています。

⑧ 大むら蕎麦店 二代目女将 木村裕子さん 27期
創業55年。当初は、銀杏稻荷公園近くにお店を開店。現在の本天沼2丁目に移転して50年。気軽に食事をしていただけるよう、お客様とコミュニケーションを絶やさず、地域密着のお店として愛されています。今はご主人とお母様、妹の千恵さん(32期)と一緒に頑張っています。

【取材後記】

今回の企画は、地元下井草商店街のご協力を頂き、特集させて頂きました。昔からの地元に愛されるお店が多い商店街で、個人店舗として頑張っている同窓生のお店です。

改めて商店街の暖かさを感じました。是非地元にお越しの際は、お立ち寄りください。下井草商店街理事長井口様をはじめ、ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

取材・記事 石渡智行 (25期 51年卒)

●同窓会便り

ごぶさたー

長野より

宮澤 仁美（26期 昭和52年卒）



東原中学校同窓会報「北斗」をご覧の皆様こんにちは。私は26期の宮澤仁美（旧姓佐藤）と申します。私は現在結婚を機に長野県の長和町という自然豊かな街に移住し、早いもので約32年になります。長和町といつても皆様あまりお聞きになった事が無いと思いますが、今年2月に開催された「平昌オリンピック」でスノーボードビックエアー、スロープスタイルに出場されて、ご活躍された藤村由香選手のお住まいになっている町でございます。

長和町は、軽井沢まで約1時間、信州の鎌倉「別所温泉」まで約40分という信州を観光するにはとても便利な町で、自宅近くの山では山菜採りやきのこ採りが出来、四季折々にいろいろな楽しみ方が出来るとても住みやすい街でもあります。私も自宅の小さな家庭菜園でキュウリやトマトを作って楽しんでいます。

東原中学校ではバレーボール部に所属し、チームの仲間と汗を流した3年間がとても心に残っており、こちらに来てもママさんバレーボールチームに参加させていただき、バレーボールを続けてきました。今は少しでも体力を落とさないようにと時間を見つけてはウォーキングをしております。

東京へは年に数回野球とラグビー観戦に主人と出かけています。なかなか日程が合わない為、同窓会には参加出

来ていませんが、子供の手もやっと離れたので、これから是非皆様の懐かしいお顔を見に行かせていただきたいと思います。その際は皆様どうぞ宜しくお願ひいたします。写真は初孫のお宮参りの時のもので、現在は孫も2人になりました。

私の趣味

鈴木 英里（26期 昭和52年卒）



こんにちは、昭和52年卒の鈴木と申します。今回投稿の機会を頂き、趣味のお話でも書かせて頂こうかと思います。私の趣味は、写真撮影、旅行、そして色々な収集癖と脈略なく沢山あります。その中でも、いちばんに活動しているのが、オートバイで旅行する所謂「ツーリング」です。では、なぜこの「ツーリング」に嵌ってしまったかというと、東原に関係するエピソードがあるのです。

あれは1981年の夏、大学生だった私は、中学同窓の須藤博志君、森裕貴君と3人で北海道に初めての「ツーリング」に出かけました。貧乏学生は、ほとんどキャンプや無人駅に泊まる旅でした。何もかも新鮮で楽しい旅でした。しかし、北海道に入ると、なんと北上してきた台風12号（北海道に過去最大の水害をもたらした）が我々めがけて襲撃してきたのです。冷たい大雨に走行を断念し、近くの宿を探したら、数十キロ先の豊富温泉ユースホステルが泊めてくれることになりました。そして最果てのユースに辿り着いた時には、身も心もボロボロでした。ずぶ濡れの3人が受付に居ると、いき

なり〈スドー君?!〉という黄色い声が響き渡りました。なっ、なんと、中学同期の藤原やよいさんが、大学の友達2人とやはり台風を避けて来ていたのです。こんな奇遇な再会は、暗闇の中に一筋の光明を照らす女神に出会ったような感動でした。私たちは、ユースのミーティングにも参加せず、6人で旅の話をしたり、ゲームをしたり、盛り上がりました。結局天候回復まで2泊して、元気を満タンにした私たちは旅を再開し、15日間かけて、2千2百キロの初ツーリングを完走することができました。この感動的な旅が私を「ツーリング」の世界へと引き込んでいくことになったのです。



ツーリング走行マップ

それから36年経った今でも、日本列島の海岸線を走破することをひとつの目標として、感動を求めて走り続けています。〈いい歳こいて!〉と揶揄されながらも・・・

北斗16号に寄せて

儀賀 一郎（24期 昭和50年卒）

みなさまお久しぶりです、お元気でしょうか。突然の北斗の原稿依頼は、昨年の12月25日のクリスマスに大倉会長から届いた手紙でした。同窓会に参加した事がない私に依頼があった事に思い当たることはなく、強いて言えば、昨年北斗15号に登場された同級生の深見哲哉君が、数年前に自宅の前を通りがかり、何十年ぶりに話が弾み、推薦してくれたと勝手に思い込んでいます。

近況ですが、住まいは、相変わらず中学時代と同じ阿佐ヶ谷北6丁目交差点近辺です。仕事は、大学卒業後、金融機関に30年近く勤務した後、現在はビックデータ・AI関連企業の監査役を務めています。

趣味は、中学時代に少し軟式を齧り、

社会人になって本格的に始めたテニスです。今から21年前に「広報すぎなみ」にクラブ設立、部員募集の記事を見つけ、入部試験を何とか滑り込み、以来クラブの仲間と週末にプレーしています。他にも杉九サッカークラブ所属の息子の応援とクラブのお手伝いをしています。子供を授かったのが遅く、一回り以上違う、父母に交じって参加しています。おかげで選挙の投票以外訪れる事がなかった母校のグラウンドに練習でお邪魔しています。息子が母校に進学し、再び校舎を訪れ、一緒に校歌を歌える機会があればと密かに願っています。

中学時代の思い出は、40数年が経過し、記憶が断片的になっていますが、秋の体育祭、文化祭、この時期には冬の多摩湖のマラソン大会が懐かしいです。今でも行われているのでしょうか。また高校受験も初めての受験で、人生の厳しさを実感した気がします。

最後になりましたが、今後同窓会開催の際は、遅ればせながら参加させて頂きたいと思っていますので、同級生の皆様、宜しくお願ひいたします。

半世紀を過ぎて

竹下 英明（14期 昭和40年卒）



私は昭和37年に杉並区立杉並第九小学校を卒業し、同区立東原中学校に入学しました。その年の1月に練馬に転居していた私は地元の中学校ではなく、東原への自転車通学を選びました。練馬には馴染みの友人がいなかったからです。まだまだ畑の多い中の道を走り、都立武蔵丘高校を迂回しての通学時間は20分程でした。今なら住宅が建ち、信号も増えたので30分はかかるでしょう。東原の周囲は畑あり、空地ありで、資材置き場になっていたと記憶し

ています。

正門に向かって右側に鉄棒があり、その先にテニスコート、北にプール、正門の左側に1年生の2階建て木造校舎が建っていたと記憶しています。1年生の遠足は秩父の「顔振峠」でした。仲間と頂上からはしゃいで走り下りた際に、転倒し右手を骨折しました。ボキンという音を聞いたような気がしましたが、痛みは全くありませんでした。先生方に大変ご迷惑をおかけしました。

後年「団塊の世代」と呼ばれた私達は人数が多く、1クラス50名近く、6クラスあり、約300名の学年テストの成績は上位50名の名前が廊下に張り出され、何事も競争の時代でした。

クラブ活動は3年になって英語部に友人と語らって入部しましたが、優秀で熱心な女子が多く、男子はあまり熱が入りませんでした。通常の活動内容の記憶がないのですが、文化祭の英語劇は女子のみで行ったのはさもありなんという事でしょう。

3年E組の担任は、国語の衣山満子先生でした。先生は当時30代の若さ、熱心にご指導いただきました。

東京オリンピック後、卒業までは体操に憧れ、男子7、8名が、昼休みや放課後に鉄棒に取り組みました。「蹴上がり」から「大車輪」まで成功したのは半数だったでしょうか。

今回投稿の依頼を受け、久しぶりに母校東原を訪ね、懐かしさと共に青春の1ページを育てて頂いた事を感謝する次第です。

心強い同期

郡山 正子（28期 昭和54年卒）

卒業してもう何年も経ってしまいましたが、東原中学で教わった3年間の記憶は今も楽しい思い出として鮮やかです。

私たち28期生は、進野策郎先生（社会科）、長内レエ先生（体育）、大窪雅子先生（理科）、松野輝彦先生（美術）、石井裕光先生（数学）と個性豊かな先生方に担任をしていただいた代です。

先生方の個性が反映されたのがびとした授業は、今でも懐かしく、同期

が集まると思い出話をしております。そんな同級生の集まりの機会や場を提供してくれるのが、地元で同期が経営しているお店です。どちらもとても素敵なお店ですので、皆さま是非ご利用ください。



● 「はちどり菓蔵」

阿佐ヶ谷北1-44-1 MTビル1F
営業時間：10時～19時（火曜定休）

阿佐ヶ谷北1丁目のバス停が最寄りのパウンドケーキ屋さんです。店主の五十嵐幸子さんが、有機栽培や無農薬栽培など国産の食材を厳選し、季節の旬の果物なども使い、店舗の中で焼き上げています。お店に入ると、作り立てのお菓子の甘い香りと、幸子さんのとびきりの笑顔に出会えます。クッキー・ジャム・ジュースなど季節に応じた商品も魅力的です。



● カラオケバー「ピィオニー」

練馬区上石神井2-23-17 2F
営業時間：20時～
西武新宿線 上石神井駅北口徒歩1分

1階が歯医者さんのビル2階のお店。「ピィオニー」は、面倒見の良い店主・森戸裕子さんのトークが居心地の良いカラオケバー、お腹の具合に合わせ即席料理のサービスもあり、運が良ければ、裕子さんの素敵な歌声を聞かせて頂けるかも。店主の昼間の仕事に合わせ、たまにお休みもありますが、そんな日にあたってしまったら、またトライしてみてください。



カラオケバー「ピィオニー」

ご紹介した2人の店主は何か事があると、みんなの連絡係になってくれて、私たち28期を繋げてくれています。

皆忙しく、なかなか同窓会も出来ない年代だけに、心強い同期の存在に感謝いっぱいです。いがちゃん、裕子さん、体に気をつけて。益々の繁盛をお祈りしています！

思い出の中学校時代

佐藤 俊三（26期 昭和52年卒）

近況

最初に私の近況を報告させていただきます。私は昭和52年に卒業し、都立西高校、東京医科歯科大学歯学部に進学し、小学生の頃よりの目標でありました歯科医師になりました。病院勤務などのうち、現在は母校の歯学部の非常勤講師を兼務しながら、JR阿佐ヶ谷駅の近くで歯科医院を開業し、妻と大学3年、中学2年の息子たちと平凡に暮らしています。

中学校時代

私の中学校時代を振り返ると、勉強はそこそこ頑張ってはいましたが、部活にはあまりというか全く結果を残す事が出来ず苦い思い出となっています。

野球部

小学生の頃より野球が好きで草野球

をやっていたので、中学では野球部に入りました。ですがあまり上手にもならず自分のなかで決定的だった今でも苦い思い出が二つありました。一つは、その頃急激に視力が落ちたという言い訳もあるのですが、紅白試合でレフトの守備に就いていた時に、バッターが打ったボールが外野に飛んで来たので私はセンター方向に走って行きました。ですが実際には打球は私が走った方向とは逆のレフト線の辺りに飛んでいました。ボールはセンターの子が処理してくれました。（その子は今も私の医院に来てくれています。）

もう一つは対外試合時に顧問の先生がお情けで途中からサードの守備に就かせてくれたのですが、守備に就いたすぐ次のプレーのサードゴロを案の定私はエラーしてしまいました。すぐさま顧問の先生に手招きされ、交代しました。

今でもその手招きの様子は覚えています。そしてそれからは、はっきり部活を辞めるでもなく、フェードアウトするように部活に出なくなってしまいました。

こんな自分の過去があるため、息子たちに部活の件で偉そうなことが言えない現在となっています。

苦い思い出ながら

苦い過去ながらもこういう中学生の頃の経験は、謙虚さや反省など大人になっていくために自分を知る大事ない思い出になっています。

回顧する年代に

北村 至（19期 昭和45年卒）



コンサート風景IN杉並公会堂

中学校時代

卒業して約半世紀！ 当時の校風は路線さえ外さねば、スマップの「世界に一つだけの花」の歌詞同様、個人を

尊重してもらえ自由気ままに過ごせた良き時代であったと記憶する。

当時はバスケット部に所属する傍ら、裏で写真部にも所属していたが知るものは少なく、その活動を時効？の今、紹介する。当時、写真が今ほど身近でなかった時代、私は思春期の頃らしく、好みの女子の写真をカメラに収め、自作プロマイドの作成に情熱を燃やしていた。しかし、小さなハーフサイズから如何に綺麗で大きく、且つ敬愛的に印画紙に焼くかは、知識・技量等が必要であり、その際の学びと執念は理系進学のきっかけ、及び、後の自覚形成に繋がったと自覚する。人生の方向付けに貢献頂いた好みの＊代＆＊子さん、特に1年の時、同じクラスと一緒に学級委員に選ばれ偶然誕生日も同じだった片思いのK代さんには是非お会いしお礼したい。

定年後

その様な私も60歳で定年退職し、この4月に64歳の誕生日を迎えたが、当時一緒に通い学び苦楽を共にした男子の1割以上、特に同じ高校に進学した男子5名の内の2名もが他界している現実を顧みずにはいられない。

一方、いつしか訪れるお迎えに備え、還暦以降、山口県玖珂「淨光寺」の菩提寺境内清掃をライフケークと決め年2回、2泊3日の旅程でおつとめしている（3日目はご褒美観光！）。



淨光寺の清掃風景

趣味

また昨年から、譜面の読めない私だがボケ防止にと日本フィルが主催する60歳以上のチェロ教室にアルバイトの傍ら通い日々精進！何れも負担は伴うものの、語り行えているうちは生きがいも感じられ、幸せ者かもと悟る昨今！

中学時代、問題を起こした事も有る自分が、教育の重要性をしみじみ実感できる年代を迎え、健全な精神と

心の醸成に向け、真摯且つ丁寧に取り組んで下さった当時担任の花岡博人先生をはじめとした先生方の教育姿勢は、今もそして今後も忘れ得ない。

「お久しぶり～」

山本 賢二（12期 昭和38年卒）



東原(杉九)の仲間と富士五湖桃源郷の旅

私も昨年、古希を迎えるました。最近、歳の所為か腰痛が酷く体を動かす趣味のスポーツも昨年諦め、今はTVも含めサッカー観戦と月1回目標の海釣りに絞っています。前者は私が東原中1年の2学期にサッカーチームが創設され、同時に入部した2、3年も含めたメンバーです。

以来、高校、大学（クラブチーム）、を卒業するまでサッカーとは長い付き合いとなりました。昨年、同期会が数十年振りにあり、東原の初代メンバーに会って大変懐かしく、楽しい時間を過ごしました。したがって観戦歴も長く、W杯ではフランス、日韓共催、ドイツ大会を現地で観戦。最近ではTV中継も含めて、日本代表、Jリーグ、なでしこ、高校・ユース世代まで幅広く観戦。母校の石神井高校の試合もよく観に行き、若さを貰って帰ります。今、住まいが横浜でニッサンスタジアム、ニッパツ競技場も近く、観に行くのに便利な所にいます。今年は6月にロシアW杯があり、現地に行く元気はもうありませんがTV観戦で眠れぬ夜が続きそうです。



久里浜沖の釣果 4.5 kgの美しい大ダイ

もう一つの趣味は後者の海釣り。ホームグラウンドは相模湾と東京湾。釣れても釣れなくても青い大海原に出れば気分は爽快、すべてを忘れます。釣行の前に目標の魚の習性を自分なりに研究し、潮汐表を確認、様々な場面を想定して釣りの仕掛けを自作する。それが楽しいです。大物から中・小物まで様々な魚種を狙いますが、釣れた魚を様々に料理して、酒の最高の肴を造り、釣った新鮮な魚でしか味わえないおかげを造る。せっせと研石で研いだマイ包丁を駆使して魚を捌きます。モダンな料理は出来ませんが下手なら下手なりに時にはテレビを見てメモを取りながら新たな料理への挑戦をする。それが楽しいのです。

追伸：昨年行われた12期同窓会が好評で当日、所用で参加できなかつた多くの同期の仲間からの要望もあり、渡部君を中心とした幹事の反省会で72歳、75歳、77歳での実施が決まりました。それまで同期の皆さんお元気で～。

● 同窓会報告

いつも同窓会誌「北斗」を拝読させて頂き、有難う御座います。

さて、私共東原中学第5回卒 3年B組は、卒業以来定期的にクラス会を開催していましたが、去る10月12日に喜寿の祝いを兼ねたクラス会を最後の集いとし「中野サンプラザ」において17名の参加のもと開催され、無事終了いたしました。

その折にこれまでの剰余金25,000円を同窓会に寄附させていただくことが決まりましたのでどうぞお受け取り頂き、「北斗」の発行費用の一助にして頂ければ幸いです。

東原中学を取り巻く教育環境も大きく変わりつつあるそうですが同窓会の益々の発展を、私共同心からお祈り申し上げる次第です。



平成29年11月

5回生3年B組クラス会

幹事長	小倉 卓男
幹事	輿水直臣
	清家絢子
	村井恵美子
	金子十美代
	山中紀子

「東原・杉九卒業生古希記念同期会」を開催しました。

12期 菱田郁子(生原)

一昨年9月敬老の日、私達、団塊の世代（昭和22年～24年生まれ）は、「東原・杉九卒業生古希記念同期会」と銘打ち、「荻窪タウンセブン」にて同期会を実施し、91名の仲間が集合しました。今では考えられないかも知れませんが、当時の東原の12期の卒業生は323名でした。当時の担任の先生方はご高齢もあり、残念ながら鬼籍に入った方も多く、出席は叶いませんでした。

私達が東原を卒業してから54年の歳月が経ちますがその間、17年前に1度「中野サンプラザ」で同期会を行い、今回が2度目の開催となります。以前より（同期会を）との声は度々挙っていたのですが、中々実現に至りませんでした。杜甫の詩『人生70古希稀』丁度、私達は古希を迎えるここで実施しなければ10年後に元気で居られる保証なしと同期会を開く機運が高まり実現しました。当日は大型台風接近で一時は開催も危ぶまれましたが台風一過、秋晴れに恵まれ幹事一同安堵しました。

今回、東原・杉九同期会にしたのは杉九を卒業して東原以外に進学した仲間たちにも参加して貰いたいとの思いがありました。会場では小学校、中学校の卒業時のクラス毎のテーブルに着席。しばらくは胸の名札を見ても年を重ねた顔と顔、お互いを思い出すのに時間がかかり・・・旧交を温めるのに一苦労でした。乾杯の後は出席者全員で自己紹介、中には昔、グループサウンズの草分け『ザ・ダイナマイツ』のボーカルで今も現役のS君が突然アカペラでヒット曲の『トンネル天国』を熱唱、会場は大盛り上がり。またプロジェクターで『東原60周年DVD』が映写され、中学生当時の阿佐ヶ谷の風景と懐かしい光景が写されて、杉九・東原の校歌を合唱。この頃には半世紀の空白は瞬く間に埋まり、アルコールも入って和氣あいあい。すっかりあの時代にタイムスリップ。いろいろな場面が蘇り、思い出が走馬灯のように浮かび懐かしさでいっぱいでした。仲間からは「ロケーションが良かった」「集まった人たちのパワーを感じた」「そのパワーを一つにしたら何か出来るのでは?」「出席したくてもできなかった人もいる中で参加出来た事に感謝」などの声があちらこちらで聞かれました。会の締めの言葉はやはり健康。何事も健康あっての事。お互いに少しでも歳を重ねられる事を祈りつつ、でも「いかに長く生きたかではなく、いかに良く生きたかが問題である」の名言を忘れずに再会を期して散会となりました。

追記：同期会の実施にあたり、実施委員長の渡部君、幹事の皆様、資料・DVD・CDの使用にご協力いただいた、先輩6期真下さん、東原中学校渡辺校長、相川先生、杉九の横井副校長にお礼申し上げます。





21期 還暦同期会28年11月12日 母校見学のあと 阿佐ヶ谷「新東京会館」にて。



剣道部OB会29年11月25日 阿佐ヶ谷中華料理「孫」にて恩師長内レエ先生と共に。

● 訃 報

昨年夏より体調を崩されていた大窪雅子先生（享年88才）が平成30年1月7日に逝去されました。

謹んで哀悼の意を表すとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。



●学校便り

○“平成30年度スタート!!”

校長 渡辺 宏

平成30年度のスタートは、2・3年生で行われました4月6日(金)の始業式でした。始業式の始まる前の昇降口付近は、新しいクラスと新しい仲間が掲載されたプリントを各学年の先生方より配布され、受け取った生徒たちの歓喜や笑い声、また、感嘆の声など、まるで遊園地のような雰囲気が味わえます。この時期ならではの光景であり、生徒たちの元気な様子をしっかり感じることができます。

春休みを終え、新学年を迎えた生徒たちは短時間にも関わらずとても大きく成長した姿が感じられ頗もしい限りです。全校約65%の生徒が歌う校歌の合唱は、コミュニケーションをしっかりと取り合い、思いを一つに凝縮した誠実さが十分に伝わってきます。

入学式は4月7日(土)に76名という多くの1年生が入学し、新鮮な気持ちと適度な緊張感の中、生徒たちの輝かしい眼差しは夢や希望に満ちており、一人ひとりの中学校生活のスタートをしっかりと確認できました。今年も“私たちの手でしっかり東原中学校の伝統を繋ぎ、新たな伝統を創り上げていきます。”といった情熱が伝わってきました。新しく後輩を迎えた学校は、新入生を迎える懐の深さが感じ取れ、“東原スピリット”ここにあります。

全校生徒203名、全ての生徒が揃い本格的な学校生活がスタートできました。これまで積み上げて来た“自由と責任”的伝統。そして、創立69周年目を迎えた歴史の重み。さらに、“生徒にとって理想の学び舎”となるよう、教職員一同全力を尽くしますので、同窓生の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

○東原中学校学校運営協議会報告（平成29年度報告）

会長 真下 進（6期生）

平成28年10月に東原中学校学校運営協議会（以下協議会と略す）が設立され早3年目に入りました。平成29年度の報告をします。

学校運営協議会のある学校を地域運営学校（コミュニティスクール）と称しますが、わかりにくい言葉に聞こえます。地域と運営の間に「が」を入れ、運営と学校との間に「する」を入れるとわかり易くなります。すなわち「地域が運営する学校」となり従来の「校長が経営する学校」と大分趣が異なります。

幸い東原の協議会のメンバーを見ますと実に多彩です。この協議会が昨年度考えてきたことは、その方向付けです。協議会が勝手にテーマを作り活動すると、教員や保護者から見て果たしてそれが自分たちが求めているものなのか？というところに当たります。ニーズを把握しないままでシーズを追及するという事態になり、様々なアンマッチングが生じます。そこで協議会では、「先生方との懇談をしてみよう」という事になりました。昨年9月に全教員との懇談ができました。教員と生徒との絆が見え、校長と教員との一体感が醸成され将に「チーム東原」が垣間見えました。しかし東原といえども課題が無い訳ではなく、教員がひたむきに生徒の育成に力を注いでいることが見えてきました。

教員が、多くの困難を乗り切る原動力は、名譽でもなく、義務感でもなくただ「子供が好きだから苦労を乗り越えられる」という言葉に感銘を受けました。今年度は保護者との懇談を予定しています。保護者は多分学校に望むものを提案してくると思われますが、今後の教育は、学校・家庭・地域がしっかりと連携して対応していく必要を問っています。その意味で保護者からは学校に望むというところから、学校に何ができるのかというところに行けるようにみんなで取り組んでいきたい。息の長い事なのでゆっくりと進めていきたいと思うところです。

同窓生の大いなるご支援を期待しています。

○支援本部便り

同窓会の皆様！ こんにちは♪

学校支援本部では・・・学校の要望に応じて、学習・部活動支援や環境整備支援などを行っています。昨年度は同窓会の方々、東原卒業生の学生ボランティアの協力のもと、生徒180名（のべ人数）の参加による定期考查前の放課後学習支援が実施されました。環境美化活動においては、毎年恒例となりました生徒による「花ボランティア隊」が卒業式・入学式に見事なプランターの花道を作ってくれました。またICTの公開講座では、パソコン室にて保護者・地域の皆様にもICT授業に触れて頂く支援も行いました。

今年度、東原中学校支援の為に、下記サポーターを募集中!!

- ① 放課後スタディーサポーター ② 環境整備サポーター ③ ICT授業サポーター

自分が中学生の頃を思い出しながら、母校東原で一緒にボランティア活動に参加してみませんか？

下記アドレスまでご連絡ください。

shienhhs@gmail.com 本部長：大杉香代（24期） 事務局長：富田 聰（25期）宛

第15回 賛助金納入同級生 127名 381,000円

敬称略 現姓表示 平成30年3月31日現在

(1期・S27)	二瓶 健次	白浜 齊	菅原都美枝	山本 賢二	守谷 英雄	宮沢 仁美
朝田 和美	服部 正子	諏訪喜代志	千田 典子	(14期・S40)	(21期・S47)	山口希代子
磯田 繁司	増田れい子	関沢 洋子	野間 節子	竹下 英明	石原 力	(27期・S53)
大根川 孝	横山 翫	高田 弘子	森 達郎	(15期・S41)	原田佐和子	河西 良祐
熊野 節子	(4期・S30)	高橋 繁美	矢島 延子	岡田眞理子	福島 正幸	増田 聰
桑高 文雄	石川 修平	角井 侑子	和田紀久子	水野 史郎	本橋 邦子	(28期・S54)
坂本 健	阪口 嘉子	檜谷 光代	(9期・S35)	(16期・S42)	(22期・S48)	遠藤あゆみ
篠田 閔恵	長島 和子	平山 正徑	足立 幹夫	佐藤 光央	河嶋 淳司	郡山 正子
田中 正春	(5期・S31)	三渡百合子	乾 寿子	菱山 康雄	小林 郁子	高橋 錬介
船津 英夫	伊藤 正子	吉田 兼信	田中 啓二	藤島久見子	(23期・S49)	(30期・S56)
(2期・S28)	井上征一郎	(7期・S33)	別府 良男	柳原 真一	田部雅彦・美樹	増田 剛
熊谷よし子	興水 直臣	雨宮 京子	(10期・S36)	(18期・S44)	(24期・S50)	(32期・S58)
(3期・S29)	金子十美代	柴崎 博子	稲田 欣也	大倉 光男	岩本 幸子	笹原百年子
石黒 行雄	厚東 均治	島村 君枝	江川 隆子	神田 静子	儀賀 一郎	(34期・S60)
市川 温意	近藤 昭子	中島 尚雄	坂本 豊	小池 恭子	近藤 敬	美作宗太郎
井上 毬子	桜井 伝蔵	横田 修	沢田 郁子	斎藤 總	藤原 幸子	(65期・H18)
延命 進	清家 紗子	渡辺 恵司	山川 卓	原田 直茂	吉田 寛子	スズキ ユキ
小幡 實	丸山 一枝	(8期・S34)	(12期・S38)	(19期・S45)	(25期・S51)	(40期・H03)
木村 雄次	吉田トシ子	板橋 将隆	上部 充子	泉 雅代	石渡 智行	小森 春奈
佐々 宣	(6期・S32)	太田 俊夫	佐藤 達夫	北村 至	(26期・S52)	
田村 春子	安野 豊	小川 靖子	城内ふみ子	桜山 広明	郡司やよい	
戸坂 範子	稻田 吉弘	黒須 敏雄	鈴木 景一	(20期・S46)	鈴木 英理	
殿村 正子	佐賀 律子	近藤 勝紀	菱田 郁子	林 晴美	スズキヒロミ	

● 賛助金納入先

ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュウ)支店	当座 0406561	東京都杉並区立東原中学校同窓会
みずほ銀行 京橋支店	普通 2729854	杉並区立東原中学校同窓会
西武信用金庫 阿佐ヶ谷支店	普通 1087407	東原中学校同窓会
なお、インターネットまたはATMからの送金の際には、下記の例のように振込人名の前に卒業期・卒業年をご記入ください。		

例：昭和54年卒業、第28期の場合…28S54（平成の場合はSをHに）・お名前

平成29年度決算報告

平成30年3月31日

平成29年度東原中学校同窓会決算報告

収入		支出		単位 円
科目	金額	科目	金額	
新入会員入会金	30,800	振込依頼書作成	2,602	
賛助金	381,000	会報印刷・発送費	340,740	
寄付金	25,000	事務費	1,404	
決算利息	20	再発送費	4,010	
小計	436,820	小計	348,756	
前期繰越金	400,219	次期繰越金	488,283	
合計	837,039	合計	837,039	

平成30年度会計予算

平成30年4月1日

平成30年度東原中学校同窓会予算

収入		支出		単位 円
科目	金額	科目	金額	
新入会員入会金	28,500	会報印刷・発送費	364,000	
賛助金	400,000	事務費	10,000	
小計	428,500	小計	374,000	
前期繰越金	488,283	次期繰越金	542,783	
合計	916,783	合計	916,783	

上のとおり報告します。

平成30年4月1日

会計 原田直彦

概要
新入会員見込 57名

会報発行 2,500部
12頁

以上の会計報告を監査した結果、適正であることを認めます。

監事 署名・捺印

大杉義代
駒井裕

● 同窓会役員（平成30年度）

敬称：略

名誉会長：渡辺 宏（東原中学校校長）	
会長：大倉 光男（18期 昭和44年卒）	
副会長：石渡 智行（25期 昭和51年卒）	
書記：菱山 康雄（16期 昭和42年卒）	鈴木 英理（26期 昭和52年卒）
坂口 雅代（26期 昭和52年卒）	宮城島正行（26期 昭和52年卒）
会計：原田 直茂（18期 昭和44年卒）	
監査：大杉 香代（24期 昭和50年卒）	駒井 聰（25期 昭和51年卒）

● 同窓会学年幹事（平成30年度）

各期順不同 敬称略 現姓表記

(1期・S27)	(8期・S34)	高橋 邦年	坂口 雅代	長島 淳一	藤田ちひろ	稻福 友佑	滝口 航
中村 精良	板橋 将隆	菱山 康雄	鈴木 英里	野本 知章	西池 公寛	隅田 夏帆	小松 由佳
五十嵐はるみ	森 達郎	(17期・S43)	(27期・S53)	長谷川 智	(54期・H17)	大久保秀作	(62期・H25)
(2期・S28)	霞田 光三	大場佐江子	石阪みどり	丸山 和美	本間 理	田畠 真実	工藤 源輝
加藤 昌俊	椿 真里枝	(18期・S44)	田中 深春	森 里美	楳川 景子	高寺 泰陸	新村 優花
北沢専吉郎	堀江美喜子	大倉 光男	河西 良祐	(50期・H13)	春日 雄哉	荒木 理沙	元持 正博
穴山 姚子	布施 寿子	(19期・S45)	(28期・S54)	外山 卓明	廣瀬 友紀	(59期・H22)	石原 佳奈
(3期・S29)	(9期・S35)	塚越 洋子	上杉 茂夫	濱地 正志	堀池裕一郎	板倉 純	(63期・H26)
小幡 實	別府 良男	松田 文子	安達 知子	斎藤 奈央	木村 花菜	小林 瞳	駒崎 遼
小菅 和敏	(10期・S36)	(20期・S46)	郡山 正子	齊藤 葉月	(55期・H18)	玉置 有生	服部 優斗
鈴木 功一	池田 秀彦	幡鎌 俊行	中山 真理	杉山亜希乃	鯉渕 敦博	重國 聖羅	西川 亜衣
(4期・S30)	柏井 光一	守谷 英雄	福島 勉	(51期・H14)	柴田 さよ	中澤 和俊	尾関 乃依
内山 治俊	久世 康英	(21期・S47)	(29期・S55)	野林 正寛	多田 健人	浅見 凜	(64期・H27)
谷岡 勝年	猪俣 澄	池川 陽子	村山 友佳	福谷 洋介	生駒 早織	(60期・H23)	福島 遼
小関 啓子	(12期・S38)	原田佐和子	伊丹 由美	山貝 和義	池川 広太	榎本 健介	板谷俊太郎
(5期・S31)	菱田 郁子	(23期・S49)	佐々木瑞江	大場 悠子	曾我 啓子	藤野 大海	松本日菜子
小笠原良行	(13期・S39)	篠 守彦	篠 直余	林 ちひろ	(56期・H19)	古谷 瞳子	古谷 理子
輿水 直臣	小松 啓一	堤 健吾	染野 歌子	平岡 千景	吉田 良之	山口佑理香	(65期・H28)
桜井 伝蔵	笛井 章男	大野 雅子	森崎 五美	(52期・H15)	眞中ひとみ	菅原 拓海	依田 政茂
渡辺 雄司	高島 修	田部 美樹	(30期・S56)	大塚 隆平	吉池 大樹	帆刈 正宗	成田 陽亮
(6期・S32)	西川 道子	(24期・S50)	児玉 裕	齊藤 美都	渡辺 樹里	小池 芽衣	海老 愛美
白濱 斎	渡邊多嘉子	松苗 宏則	長谷川 徹	小林 健太	辻本 翔大	森近 玲偉	一柳 美結
諫訪喜代志	(14期・S40)	藤原 幸子	増田 剛	加藤 春日	大類 真喜	加賀谷洸太	(66期・H29)
平山 正徑	竹下 英明	(25期・S51)	宮下 稔	平野 隆之	(57期・H20)	平野 一樹	小寺 悠太
真下 進	真下 忠夫	石渡 智行	伊藤 佳	渡瀬恵理子	佐藤 奠	古賀 愛海	鈴木 聖奈
山本 陽子	(15期・S41)	佐伯幸四郎	(33期・S59)	吉田 將	木村 真子	清水 勇気	篠崎 真
(7期・S33)	野呂瀬民知雄	駒井 聰	輿水 忠之	(53期・H16)	榎本 康二	(61期・H24)	綿貫 来美
中村 功	秋山 裕子	福谷みどり	佐藤 直秀	石原 康匡	天野 聰子	中島 俊平	
船越 正義	船越 房江	(26期・S52)	横田 政直	松本 理紗	阿部 圭介	小澤 捷子	(新任・太字)
山田 宗男	(16期・S42)	佐野 道洋	(49期・H12)	三浦 拓也	山中佐和子	三井 来人	
中村 鶴江	佐藤 光央	宮城島正行	佐藤栗里子	小林 愛美	(58期・H21)	飯本日菜子	

● 北斗 16 号 編集委員・名簿管理者

委 員：板橋将隆 原田直茂 大倉光男 石渡智行

名簿管理者：大倉光男

● 編集後記

北斗 16 号をお届け致しました。今号も前号同様の紙面構成です。特集は下井草商店街を 25 期石渡智行さんの取材・記事で載せました。今後の特集もお楽しみに。ごぶさたも多彩な方々から投稿を頂きました。母校に寄せる思い入れを感じさせて頂き、有難うございました。同窓会の情報発信の役割を継続して参ります。毎号のお願いですが、北斗発行の原資は唯一皆様の賛助金・寄付金でございます。ご支援を重ねてお願い申し上げます。1 口千円で 1 口からお願ひいたします。

杉並区立東原中学校同窓会会報

「北斗」16 号

平成 30 年 6 月

東原中学校同窓会

杉並区下井草 1-28-5

TEL. 03-3390-0148

FAX. 03-3390-3588

編集責任者 大倉 光男

印刷：タイヨー美術印刷株